

Shine Forum
はじめての一步
～古賀市の未来を語る～

場所
リーバスプラザこが
中央公民館大会議室
古賀市中央2丁目13-1

参加費
無料

対話テーマ
【古賀市のまちづくり】未来への想い

日時
2022年8月27日（土）19:00-20:30

語り手
ぬま 健司 たきぐち 由美子 田中 やすひろ

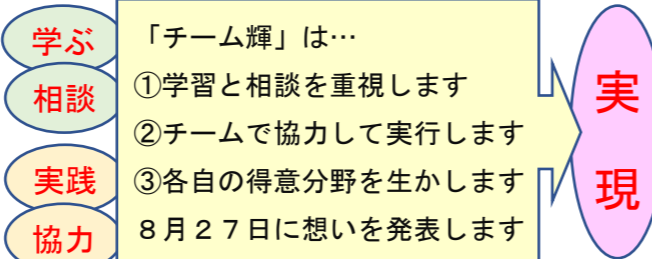
プロフィール:
ぬま 健司: プロフェッショナル市会議員
たきぐち 由美子: スイミングインストラクター
田中 やすひろ: 古賀市のケアン

主催団体: チーム輝 (かがやき)
問い合わせ先: 古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103 Tel: 090-3664-1674
※当日はご自由に参加可能となっておりますが、あらかじめ右のQRコードによる事前申込みで受付がスムーズです。

チーム輝

一人ひとりが輝き
古賀市が輝く

歩み始めます
最初の目標は議会力アップ



- ぬま健司（市議7期目、花見東2区）
- たきぐち由美子（水泳指導者、舞の里4区）
- 田中やすひろ（介護職員、花見東2区）

7期目の3年半 活動の主な報告

- 以下の取組に力を入れました。
- SNS 新型コロナや市政・議会の情報を連日発信しています
 - 市政チェック 道の駅、SDGs、第5次総合計画、薬王寺インキュベーション、千鳥苑などめぐり田辺市政を検証しています
 - 地域課題解決 花見小前のハンブ、宮地岳線跡地ワークショップ等を地域共同で実現しました
 - 議会合意形成 コロナ感染時の議会機能、オンライン会議の条例改正、地球温暖化対策の議会提言などを推進・実現しています
 - 健康づくり 子ども特定健診、認知症支援など地域医療をライフワークとして実行中。
 - 身近な市民相談の解決支援



■1952年4月17日生まれ（石川県加賀市）
■市議7期目、議会運営委員会委員長、政策推進会議会長
■文教厚生委員、会派・友和（森本議員、清原議員、私）
■地域医療と市民を結ぶ会事務局長、まちづくりフォーラム代表、「チーム輝」代表
■千鳥小児童による千鳥が池観察会のゲストリーダー
■卓球協会理事、花見苑自主防犯パトロール
■千葉大医学部中退、神奈川県立平塚江南高校卒業
■事務所は千鳥（東医療センター前）、自宅は花見東2区
■家族 妻、長男（兵庫県在住）、長女（古賀市在住）
■趣味 写真撮影、コカリナ、家庭菜園、ジム通い

理想の追求 生涯現役で頑張ります

7期目の任期は残り8か月余ですが、あと10年は頑張ります。生涯現役がモットーです。

- まちな保健室、子ども特定健診、千鳥苑の存続活用、環境・平和等で結果を出します。
- 「チーム輝」で市民力、議会力をアップします。次世代育成に本格的に着手します。
- SNSによる情報発信に磨きをかけ、継続・充実させます。



古賀市議会議員
ぬま健司

ぬま健司 ニュースレター

2022年8月発行

Facebook、Insta、Twitter、Homepageで暮らしに役立つホットな情報を発信中です！

ぬま健司事務所
〒811-3113 古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103
電話・FAX: 092-944-2639
メール: ny2knm@gmail.com

一般質問

田辺市政の課題を検証 皆さんはどう評価しますか？

テーマ	検証すべき点	ぬま健司の提言
国との関係	◆国の要請や交付金活用に前のめりでは。◆市の主体性、計画性、市民対話が阻害されていないか。	●国との関係ではいい意味で手を抜き、将来ビジョンに基づき、 地域や市民生活に応じた政策を優先 することが肝心。
庁内議論 会議録	◆庁議や課長クラスの議論が不十分では。◆会議録は検証可能な内容になっていないのではないか。	●幹部職員の議論を徹底すること。デジタル化で速やかに会議録を作成し、 政策決定過程を「見える化」 すること。
市民対話	◆対話の場は増えても本当に傾聴する姿勢はあるのか。◆説得会になっていないか。	●「結論ありき」ではなく、 対話を通じてより良い政策を作るべき 。市民アンケート、ワークショップの積極的活用を。
千鳥苑	◆「移転・廃止」案は千鳥苑の役割を台無しにするのでは。◆介護予防、地域コミュニティに逆行。	●今後ますます必要な地域共生社会の拠点として、 民間との共同も含め千鳥苑を存続・活用 することが最善の策。
総合計画	◆目標や重点が明確ではないため市民の関心が低いのでは。◆平和と国民保護の記載が不十分では。	●第5次総合計画は始動したばかりだが、 ウクライナ情勢、新型コロナ、物価高騰 など受け修正・補強が必要だ。
薬王寺 快生館	◆2億円超の税金投入を市民は納得するか。◆有益費の放棄や契約解除後の構想がないことは疑問。	●国の交付金の使い方を検証すべき。ここに 多額の税金を投入した市長判断に対し市民の信を問う べき。



▼市政チェックは議員として大切な責務です。一般質問全記録をパンフレットにまとめました。メールを頂ければ送付します。読みごたえ満点です。ぜひご覧ください。

千鳥苑

今こそ千鳥苑存続求める声を！ 決定は来期の市長、市議会に先送り

年間4万人以上が利用する千鳥苑は、高齢者や子どもの居場所、地域コミュニティの拠点として大切な施設。私は3月議会で存続・活用を求めました。6月から存続を求める署名が始まりました。最終決定は2028年度となり、来期以降の市長、市議の責任は重大です。

▼古賀市は国の要請に応じ、公共施設の面積を2060年までに2割削減する目標を策定。そのために、千鳥苑や市民体育館等の「移転・廃止」を提示しました。

市民の切実な願いに背を向ける冷たく、むちゃな計画です。私は市民の声を聴き、見直すことを求めています。

公共施設等総合管理計画【第1期アクションプラン】

2014年4月 総務大臣通知・策定要請

2060年までの40年間に総延べ床面積を約2割圧縮
コスト面では約54億7千万円の削減

2017年3月策定

第1期アクションプラン: 2021年度~2030年度

2021年8月原案
2022年1月決定

施設名	面積 m ²	機能	建物	備考	
市民体育館	1175	移転を検討	廃止を検討	計画期間内に、関係団体と協議を行い、施設の方向性について明らかにする	
クロスバルこが	7242	維持	複合化を検討		
米多比児童館	433	移転を検討	廃止を検討		
あすなろ教室	66	移転を検討	廃止を検討		
市民活動センター	45	移転を検討	廃止を検討		
千鳥苑	1546	移転を検討	廃止を検討		2022年度に築45年

田辺市長のブログ 千鳥苑 2028年度末までに結論

●千鳥苑について、令和10(2028)年度まで現在の施設での指定管理を継続する方針を決定した。少なくとも今後7年間は、今の場所で高齢者福祉などのサービスを提供する。

●公共施設等総合管理計画で、今後40年間で総延べ床面積を現在の8割の規模にすることをめざしている。令和3(2021)年度から同12(2030)年度までの10年間の第1期アクションプランを策定し、千鳥苑の現建物について廃止を含めて検討する旨を示している。

●機能維持を前提として、令和10(2028)年度末までに、他の公共施設への移転、民間施設の賃借や民間移譲などの民間活力を使った手法なども含めて詳細に検討を進め、結論を得る。

▼田辺市長は千鳥苑の指定管理をあと5年延長し、7年間は現状のままと説明。2028年度までに結論を出す述べ、問題を先送りしました。

しかし「移転・廃止」を見直したわけではありません。市長に存続・活用を求める声を多くの署名で伝え、「移転・廃止」を断念させる必要があります。

▼指定管理がもう1回行われることから、結論を下すのは次や次の市長、市議会に委ねられます。時間の経過とともにあいまいにすることは許されません。

私は今後7年間も言い続けます。千鳥苑は今後ますます必要な施設です。存続・活用を実現します。

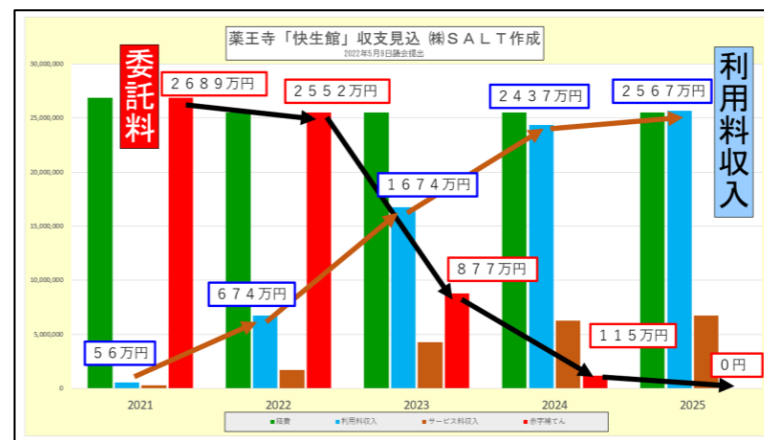
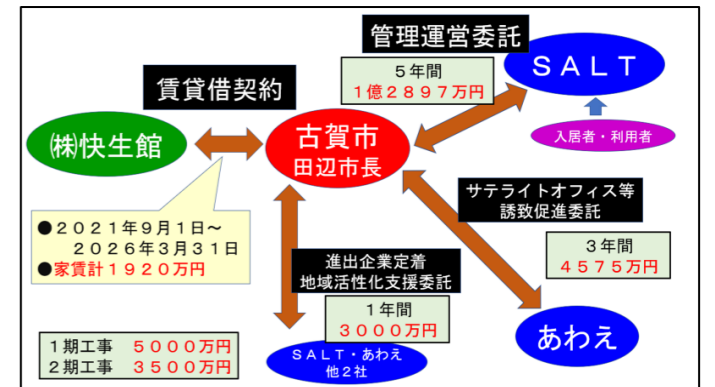


薬王寺 快生館

民間施設への多額な税金投入 問われる市長判断、議会チェック能力

▼古賀市は快生館から家賃を払って旅館施設を借り、すでに2億円1千万円以上の税金を投入。改修、備品購入でオフィスを整備し、SALTに管理運営を委託。入居者やコワーキング利用者の募集に多額の公金を投入。

市長は「公の目的」を強調するが、それは「移住目標22人、新規創業目標なし、サテライトオフィス13社」という程度です。



▼収支見込は年間経費を約2500万円とし、5年目で利用料収入が経費を上回り黒字化するというもの。市の赤字補てんは6200万円。5年間は経費を市が保障するので回るが、6年目以降は不確実。「自走」できるか、行き詰まるかのいずれかとなる。市長は国費を獲得しスタートできたと胸を張るが、結果次第ではその責任は大きい。

▼古賀市と快生館の賃貸借契約書には、契約は5年間で更新されず、改修が大規模なことから現状のまま明け渡しとしています。また改修や備品購入に係る有益費(現時点で約9千万円)は放棄するとしています。国費を財源として整備した施設や購入した備品等を一株式会社へ贈呈することは疑問です。

古賀市と快生館の建物賃貸借契約

賃借人は、賃貸者人に対して、**原状回復義務を負わず**明け渡し時の現状有姿で明け渡す
賃借人は、明け渡しに際して、**有益費償還請求権は放棄する**

「2億円超す税金をつぎ込み、有益費を一株式会社へ明け渡すのは国も認めている」と市長は説明するが、このような税金の使い方は疑問だ。

快生館 来期の市長、市議の責任重大



▼契約は2025年度末に切れます。その時には収支の結果も出ます。その結末を見届けるのは次期の市長と議会です。責任は重大です。私はその時点もしっかりチェックします。あいまいにしません。

そもそも将来ビジョンもないこの事業は、総合計画の趣旨にも反します。